

PCP ランチョンセミナー 「成長する PCP の 4 年後のビジョン」



日時 3月17日（日）12:45–13:45

会場 X会場

言語 日本語と英語

スピーカー：東山哲也（新編集長）、坂本亘（前編集長）

出版を取り巻く環境は大きく変化しています。これまで以上に、トレーニングやネットワーキング、優れた研究の実践のために、学会誌の必要性は高まっています。学会誌は、海外から見た学会の顔そのものでもあることから、その成長は学会の国際化にも重要です。

PCP では、掲載される論文数を増やすことを目標としており、これは近い将来、完全なオープンアクセス出版を実現するためにも重要です。2024年にPCPは65周年を迎えます。新編集長はじめ、新たな委員を加えた編集体制で、PCPに対する世界からのビジビリティを高め、個性豊かなジャーナルとしてさらに成長させることを目指します。このランチョンセミナーでは、新体制のキックオフとして、PCPの現状、PCPが成長することの意義、PCPの4年後のビジョンについて議論します。この共有こそが、新体制の4年間に大成功に導く鍵だと考えています。あらゆる世代の多くの皆さまのご来場をお待ちします！

- セミナー概要：
1. 新旧編集体制の紹介
 2. アンケート結果及びPCPの現状の分析
 3. 論文掲載料無料化と会員がPCPに論文を投稿するメリットの共有
 4. 4年後のゴールの提案

株式会社エビデント ランチオンセミナー

「植物細胞形成のダイナミクス：スピニングディスク顕微鏡と FV-OSR の活用」

日時 3月18日（月）12:15-13:15

会場 H会場

主催 株式会社エビデント

言語 日本語

佐々木 武馬先生（名古屋大学 大学院理学研究科 理学専攻 生命理学 細胞時空間統御グループ 助教）

植物細胞はそれぞれにユニークな形状を持っており、この形は植物に特有の細胞分化と細胞分裂の過程によって形成される。両過程は変化に富んでおり、その理解にはリアルタイムかつ高精度な観察が求められる。今回の講演では、スピニングディスク共焦点顕微鏡とエビデント社の超解像技術「FV-OSR」を用いた研究結果を紹介する。

特に、シロイヌナズナ・ゼニゴケ細胞分裂過程における長時間タイムラプス撮影¹⁾と植物内部で形成される木部道管細胞の分化過程の観察^{2),3)}に重点をおき、試みた観察手法と得られた結果について述べる。

- 1) Sasaki et al., Current Biology 29, 2019
- 2) Sasaki et al., Nature Communications 14, 2023
- 3) Higa et al., Nature plants, 2024

The logo for EVIDENT, featuring the word "EVIDENT" in a bold, black, sans-serif font. The letter "V" is stylized with three blue diagonal lines extending upwards from its left side.

国際委員会ランチオンセミナー

「留学のすゝめ」

日時 3月18日（月）12:15-13:15

会場 X会場

主催 日本植物生理学会国際委員会 / 海外日本人研究者ネットワーク (UJA)

言語 日本語

パネリスト：黒岩杏佳（フランス国立農業・食糧・環境研究所／博士課程）

高橋望（奈良先端科学技術大学院大学／助教）

津島綾子（大阪公立大学／助教）

筒井大貴（沖縄科学技術大学院大学／ポスドク）

松田陽菜子（京都大学／博士課程）

三俣好令（北京大学／ポスドク）

日本植物生理学会国際委員会では、JSPPコミュニティの国際的な研究競争力やプレゼンスの強化を目指しています。海外生活を経験した研究者の数を増やすことは、その土台のひとつと信じています。その一方で現在、海外留学に対する関心は高まってはいますが、情報不足から留学の実態が掴めず留学を躊躇するケースも見られます。また、新型コロナウイルスに関連する不安も未だ多く渦巻いています。これらの不安を解消し、海外留学をキャリアの選択肢として考えるためには、留学経験者からのリアルな情報を得ることが極めて重要です。

本ランチオンセミナー（海外日本人研究者ネットワーク UJA との共催）では、短期留学・大学院留学・ポスドク留学といった、それぞれ異なる留学経験を持つ講演者を日本国内外からオンライン・オンサイトでお招きし、多様な留学経験を共有していただきます。セミナーは、各パネリストのフラッシュトークの後、パネルディスカッションを行い、会場からの質問に答える形で進行します。留学予定の有無にかかわらず、留学について少しでも関心がある全ての方々の参加をお待ちしています。

男女共同参画ランチョンセミナー 「そうだ 会社をつくらう」

日時 3月19日（火）12:15-13:15

会場 H会場

主催 日本植物生理学会男女共同参画委員会

言語 日本語

講師：金 鍾明 博士（アクプラント株式会社 CEO / 東京大学 特任准教授）

パネリスト：小倉 里江子 博士（横浜バイオテクノロジー株式会社 取締役研究開発部長）

野田口 理孝 博士（京都大学 教授 / グランドグリーン株式会社 技術顧問（共同創業者））

山本 篤 さん（東京大学博士課程学生 / 株式会社本田技術研究所 先進パワーユニット・エネルギー研究所）

今年の男女共同参画ランチョンセミナーでは、研究者のキャリアパスとして、起業の可能性を提案します。自分の発見や技術をもっとダイレクトに世の中に生かす方法として「会社をつくる」ことを考えてみませんか？研究者の生き方も多様化する中、基礎と応用の境界線は曖昧になってきており、基礎研究をしながら、アイデアや技術を世にだすこともできるようになってきています。本セミナーでは、研究者としてのキャリアを活かして、専業または兼業で起業を成功させた講師とパネリスト、起業を考えている若手研究者を招待し、その経験を語っていただきます。植物科学分野では、自身が手がける基礎研究が、世界規模での食料・環境・エネルギー問題の解決の礎となる可能性を秘めています。研究者としてのキャリアを活かす方法として、そして基礎研究の成果を社会に繋げる手段として、起業について議論します。

※先着100名様までにお弁当とお茶を用意しています。事前申し込みは不要です。